

第2章

景観まちづくり方針



第2章 景観まちづくり方針

1 景観まちづくりの理念と目標

(1) 基本理念

本市の景観の特性と課題を踏まえ、景観まちづくりの基本理念を次のように定めます。



本市は、自然度の高い山岳景観から人々で賑わう都市的景観まで、多様な景観が地形による階層に即して近接しており、暮らしの景の中に融合され、息づいています。

こうした本市固有の美しい景観は、治水・利水を含めた自然との関り方を通じた暮らしや営みなど、先人の知恵と暗黙の秩序のもとに、永い年月をかけて受け継がれ、形づくられてきたものです。この「美しい景観」というかけがえのない財産を、大切に守り、育て、後世に引き継いでいくことは、今を生きる私たち一人ひとりの大きな責務でもあります。一方、時代とともに景観も変化しており、時代に合った新しい景観も創出していく必要があります。

美しい景観をつくるには永い年月が必要です。悠久の時を越えて、甲斐市らしい良質な景観を将来へとつなげていくという視点から、本市の景観まちづくりは、ふるさとのかけがえのない美しい景観をもう一度見つめ直し、先人から受け継いだこの景観をみんなで守り、継承していくとともに、多くの人の交流と協働により、甲斐市らしい景観を創出していくことを「新・百年の景」と呼び、基本理念とします。

なお、この基本理念や景観まちづくりの目標については、景観市民アンケート調査や景観まちづくり市民懇談会から提案された「景観まちづくり市民プラン」の内容を反映して、設定しています。

(2) 景観まちづくりの目標

基本理念に基づいて、本市の景観まちづくりを進めるため、次の景観まちづくりの目標を設定します。

甲斐市の歴史や風土に根ざした景観まちづくり

先人から受け継いだ貴重な景観資産を後世に引き継いでいくため、景観の基調をなしている地形、緑、水辺といった自然、景観を形成してきた固有の歴史文化を尊重し、その良さを引き立て、甲斐市の魅力として生かしていく景観まちづくりをめざします。



春の棚田

おもてなしを感じさせ、地域の活力を生み出す景観まちづくり

景観は市民共有の財産であるという考え方に立ち、子どもの頃から郷土愛を育てるとともに、景観の魅力を一層高めていくことにより、市民にとってはふるさとへの愛着と誇りを醸成し、来訪者にとってはおもてなしを感じさせ、また訪れてみたくなるような景観まちづくりをめざします。

こうした景観まちづくりを通じて、市民や来訪者の交流を広げ、市や地域の活力を向上させ元気にしていく景観まちづくりをめざします。

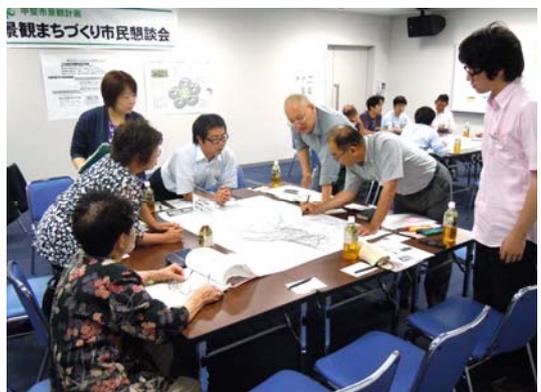


竜王駅北口広場

多くの知恵と創意を結集し、みんなで育てる協働の景観まちづくり

多くの人々の知恵と創意を結集し、景観まちづくりの推進力としていくため、景観に対する意識やマナーの向上を図っていきます。

また、市民活動の芽を育て、個々の活動を支援するとともに、全市的な景観まちづくりとして推進していくために、本市の実情に合わせたルールづくり、仕組みづくりを進め、市民、事業者、行政、さらに本市を訪れる多様な来訪者も含め、みんなの交流と協働で育てていく景観まちづくりをめざします。



景観まちづくり市民懇談会

(3) 甲斐市のめざす景観構造

1) 甲斐市の景観構造の特徴

本市の景観構造は、北部の茅ヶ岳や曲岳から南部の甲府盆地の平地まで、徐々に標高が下がる地形構造の上に、永い歴史と人々の営みがつくり出した土地利用が重層化し、景観の基本構造を形成しています。

① 地形からみた景観構造

本市の地形からみた景観は、北部の山々、茅ヶ岳山麓の丘陵地とそこから伸びる赤坂台地、亀沢川や荒川沿いの奥行きのある谷地形、南部の沖積平地が景観の基調を成し、これに釜無川、亀沢川、荒川などの河川、スカイラインとなる山の尾根筋、ランドマークや眺望対象となっている市外の山並みなどで構成されています。

■地形からみた景観構造



2) 甲斐市のめざす景観構造

本市がめざす景観構造は、次の考え方に基づいて、大地の容姿である地形構造を尊重し、面的な景観のまとまりを形成する景観ゾーンと、点的な場の景観を形成する景観拠点の景観形成を図り、さらに、これらを有機的に結ぶ「ふるさと景観回廊」を創出することにより、構築していくことをめざします。

■本市がめざす景観構造の考え方

大地の容姿である自然地形を大切にし、骨格的な景観の構造要素として生かします

本市の景観の最も基本的な土台を成しているのは地形です。北部の急峻な山や山並み、なだらかな山麓、丘陵地や台地、釜無川、亀沢川、荒川などの河川といった地形が形づくる骨格的な自然景観は、重要な景観の構造要素です。景観形成にあたっては、このような自然地形を尊重し、その姿かたちを損なわないように努めます。

また、富士山、南アルプス、八ヶ岳といった日本を代表する山や山並みも、本市から眺望することができ、眺望対象、ランドマークとなっています。こうした眺望する市外の山や山並みも景観の構造要素として生かします。

地域景観のまとまりをつくる景観ゾーンの形成を図ります

地形に即して展開する土地利用も、本市の景観を規定する大きな要因です。主たる土地利用によって地域の中で卓越している景観があり、地域景観の基調を成しています。

こうした景観は、地域の景観的な特色であり、地域らしさを映し出すものであることから、その良さを守り、継承していくとともに、景観形成に生かしていくことで、その地域らしい景観的なまとまりを形成することをめざします。

市や地域の核となる景観拠点の魅力を高めます

市内には、竜王駅周辺、市役所各庁舎周辺など市の顔となる場所があります。また、それぞれの地域にも、主要な公園をはじめ、観光、文化、交流の拠点となっている場所があります。

こうした場所は、多くの人々が利用し、意識が集まる景観的にも重要な場所であるため、景観構造上も景観拠点として、その界隈や場の景観の質や魅力の向上を図ります。さらに、景観まちづくりの取り組みを通じて、人々の意識に働きかけ、景観に対する意識の向上や本市のイメージアップに寄与していくことをめざします。

魅力的な景観を結ぶ「ふるさと景観回廊」の形成をめざします

道路は、連続的に移動しながら本市を眺める最も基本となる視点場です。ここでの風景体験が、本市の景観の評価に大きく影響します。

そのため、市民をはじめ、来訪者など多くの人々が本市の景観の魅力を楽しめるよう、主な道路や河川沿いなどを生かして、多彩な景観拠点や魅力ある景観資源を結ぶ「甲斐市ふるさと景観回廊」の形成をめざします。

景観回廊としては、幹線道路などを軸とする骨格的な景観回廊と、地域の生活道路などを活用したフットパスを設け、それぞれのルートにあった景観形成を図ります。

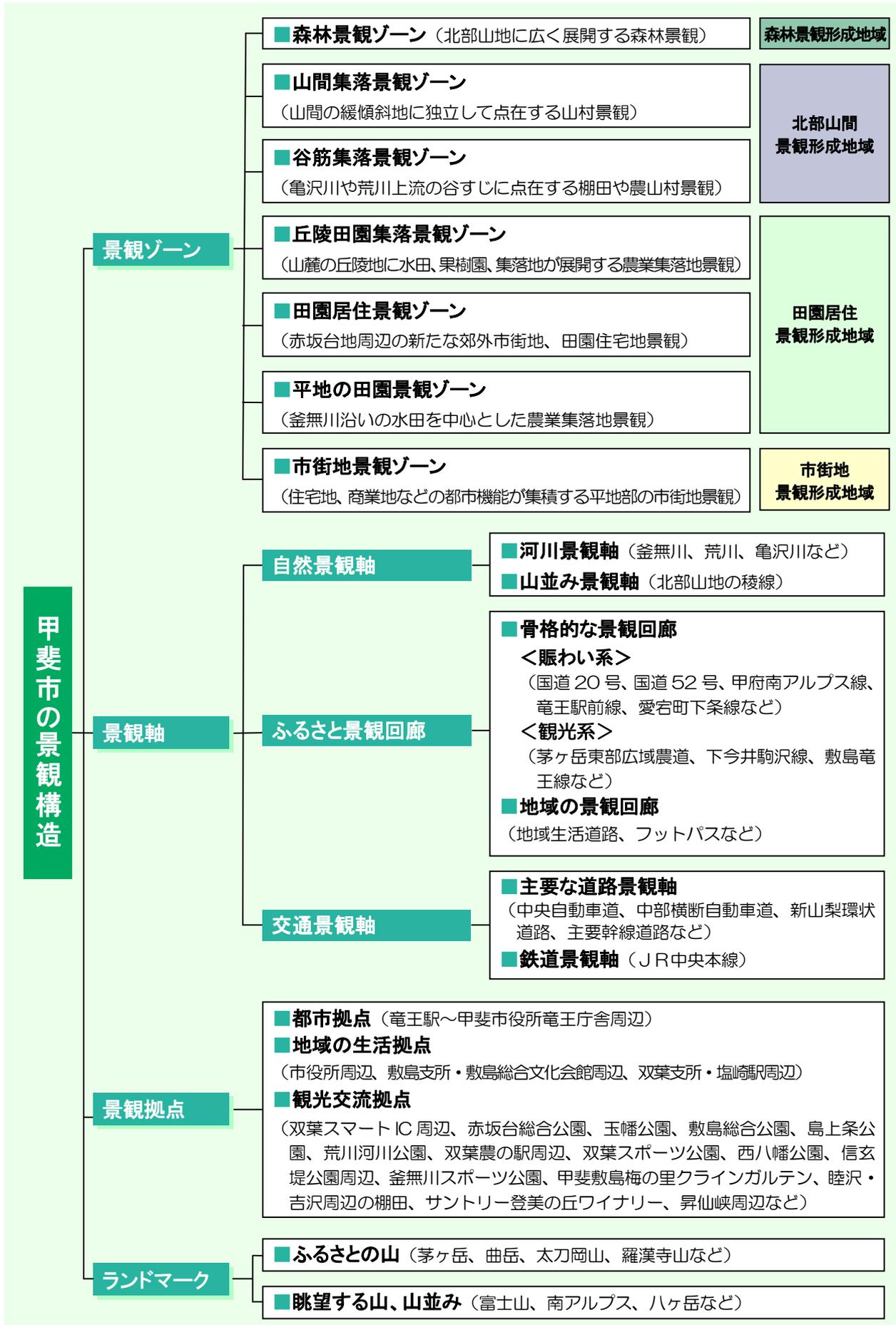
■景観構造構築の概念図



■地形断面と景観ゾーンの模式図

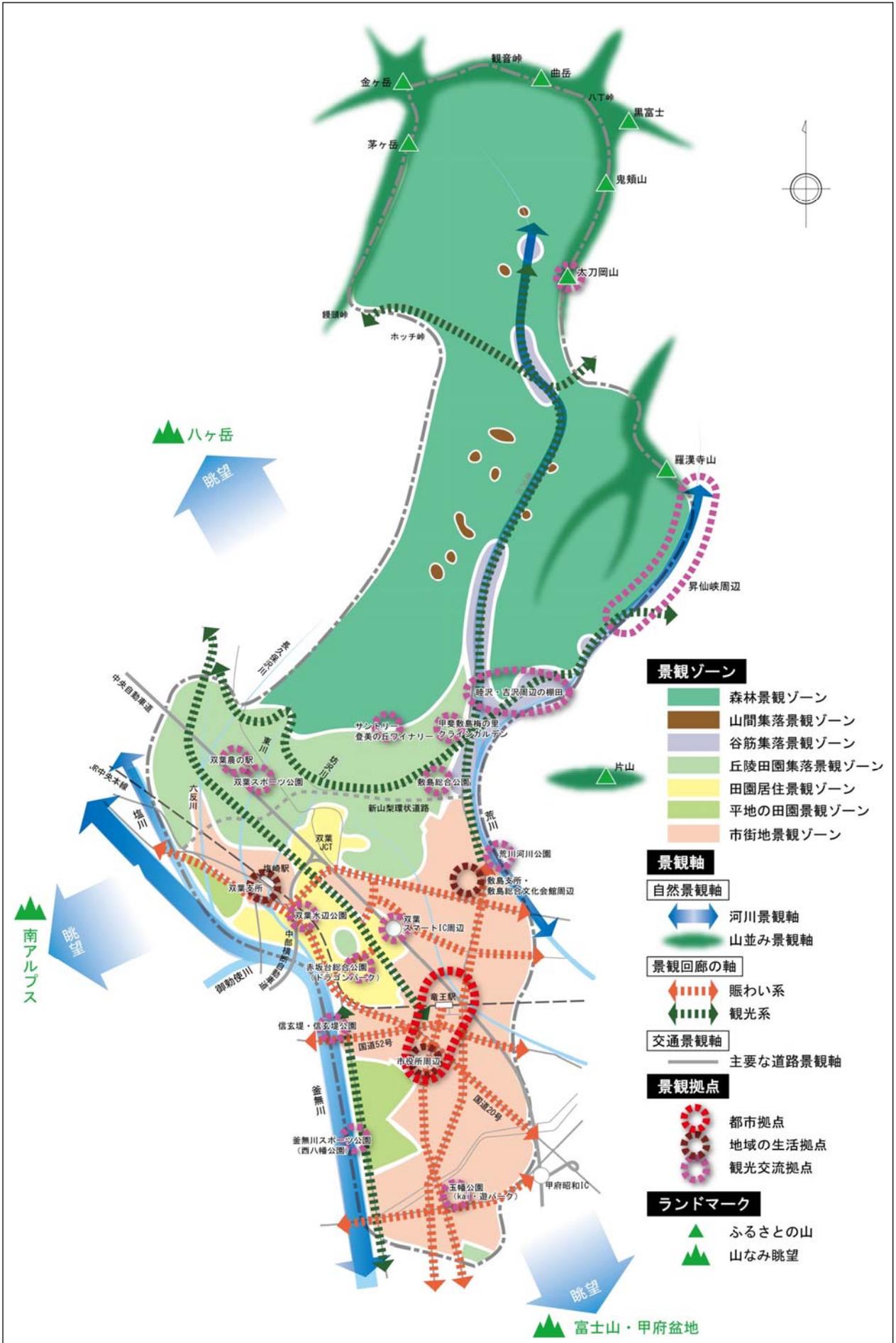


■ 甲斐市がめざす景観構造



注) * 「森林景観形成地域」「北部山間景観形成地域」「田園居住景観形成地域」「市街地景観形成地域」は、「第3章-1-(2)-1) 景観形成地域の区分」に示す景観形成地域の区分を表示しています。

■甲斐市がめざす景観構造



注) * ふるさと景観回廊については骨格的な景観回廊のみ表示しています。

2 景観まちづくりの方針

■ 景観まちづくり方針の体系

「景観まちづくりに向けた課題」や「景観まちづくりの理念と目標」を踏まえ、今後の指針となる次の7つの景観まちづくり方針を設定します。

■ 基本理念と目標

【基本理念】

風土と歴史を尊び、交流と協働で育む「新・百年の景」

【目標】

- 甲斐市の歴史や風土に根ざした景観まちづくり
- おもてなしを感じさせ、地域の活力を生み出す元気な景観まちづくり
- 多くの知恵と創意を結集し、みんなで育てる協働の景観まちづくり

■ 景観まちづくりの基本方針

(1) 優れた眺望景観を守り、生かす

- 1) 富士山の眺望やパノラマ景観を守ります
- 2) 良好な眺望場所の魅力を高めます
- 3) 優れた眺望を生かした景観まちづくりを進めます

(2) 水とつながる歴史文化的景観を守り、生かす

- 1) 信玄堤周辺の魅力を高めます
- 2) 水とつながる歴史文化的景観を顕在化し、景観まちづくりに生かします

(3) 歴史を伝える景観を守り、生かす

- 1) 歴史的なまちなみ景観を守り、生かします
- 2) 遺跡・史跡・社寺の景観を守り、生かします
- 3) 古道を景観まちづくりに生かします
- 4) 身近な歴史的景観資源を顕在化し、景観まちづくりに生かします

(4) 自然景観と山懐の里山景観を守り、生かす

- 1) 特徴的な自然景観や景勝地の景観を守ります
- 2) 特色ある山間の農山村景観を守り、生かします
- 3) 生き物の生息環境を守ります
- 4) 自然や里山を楽しむルートや場をつくります

(5) 棚田や農の景観を継承し、生かす

- 1) 棚田の景観を守り、生かします
- 2) 特色ある農の景観を守り、生かします
- 3) 都市住民との交流を深め、元気な農の景観を取り戻します

(6) おもてなしを感じさせる景観をつくる

- 1) 甲斐市の顔となるシンボル景観をつくります
- 2) 魅力ある「ふるさと景観回廊」をつくります
- 3) 景観の魅力を生かした観光交流を進めます
- 4) 花と緑の景観まちづくりを進めます
- 5) 祭りやイベントを活性化し、魅力ある賑わい景観をつくります

(7) 親しみのもてる暮らしの景観を育てる

- 1) 都市景観と田園景観の調和を図ります
- 2) 地域の個性を尊重しながらも調和のとれたまちなみ景観を育てます
- 3) 身近な景観資源を守り、生かします
- 4) 公共施設の景観の向上を図ります
- 5) 景観まちづくりを通じて地域のコミュニティを育みます

(1) 優れた眺望景観を守り、生かす

1) 富士山の眺望やパノラマ景観を守ります

本市は、市内のどこからでも富士山や周囲の山々を眺めることができるなど、眺望景観に恵まれています。

市民の心の拠り所であるとともに、来訪者に甲斐市のイメージを強く印象づけてくれる大切な景観資源である優れた眺望を守り、地域の活力を高める取り組みを進めます。



赤坂台総合公園からの眺望

取り組み方針	景観形成方策
眺望場所からの視界を確保する	<ul style="list-style-type: none"> 眺望場所については、繁茂した樹林や雑草、電線や電柱といった眺望を阻害している要因を除去する工夫、改善に努める。
高台から見下ろす眺望を良好に保つ	<ul style="list-style-type: none"> 森林の伐採や土地の改変、建築物や大規模な工作物等に対し、景観が周辺と調和し、一定の統一感が感じられるよう、本計画に定める行為の制限に基づき、適切な景観コントロールを実施する。 公共施設の整備にあたっては、先導的に景観に配慮した整備を行い、眺望景観の維持保全に努める。

【景観形成の対象】

- 富士山と甲府盆地を一望するパノラマ景観、南アルプス、ハケ岳などの眺望、甲府盆地の夜景
- 釜無川周辺やアルプス通り周辺からの富士山、南アルプス、ハケ岳などの眺望
- ランドマークとなっている北部の山々の眺望（茅ヶ岳、曲岳、太刀岡山など）

2) 良好な眺望場所の魅力を高めます

市内に数多く見られる良好な眺望場所の魅力を高め、景観まちづくりへの活用を図ります。



太刀岡山からの眺望

取り組み方針	景観形成方策
眺望場所を掘り起こす	<ul style="list-style-type: none"> 市内に数多く存在する良好な眺望場所の掘り起こしを行う。
眺望場所の魅力を高める	<ul style="list-style-type: none"> 眺望場所については、場所の特性に応じた小広場の整備や周辺の美化・環境改善を図り魅力を高める。
眺望場所からの眺望を確保する	<ul style="list-style-type: none"> 繁茂した樹木の枝や電線、電柱といった眺望を阻害している要因を改善するなどして、眺望場所からの眺望を確保する。

【景観形成の対象】

- 赤坂台総合公園、敷島総合公園、甲斐敷島梅の里クラインガルテン周辺、サントリー登美の丘ワイナリー、双葉スポーツ公園周辺など
- 信玄堤や信玄堤公園、双葉水辺公園、双田橋、開国橋、信玄橋など
- アルプス通り、玉幡公園など
- 茅ヶ岳・曲岳・太刀岡山・羅漢寺山等の登山道、山頂など

3) 優れた眺望を生かした景観まちづくりを進めます

本市の優れた眺望景観を生かして、観光の振興や地域の交流を通じて活力を高め、景観まちづくりの推進を図ります。



サントリー登美の丘ワイナリー展望台からの眺望

取り組み方針	景観形成方策
本市の良好な眺望場所を紹介する	<ul style="list-style-type: none"> 優れた眺望を望める良好な眺望場所を市内外で紹介する取り組みを推進する。
眺望を生かした景観まちづくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> 良好な眺望場所は、その他の魅力ある景観資源とともにフットパスで結び、まち歩きツアーや眺望を生かしたエコツーリズムなどへの活用を図る。

(2) 水とつながる歴史文化的景観を守り、生かす

1) 信玄堤周辺の魅力を高めます

信玄堤を中心としたゾーンにおける、本市の治水・利水の歴史文化を伝えるシンボリックな景観を維持保全し、魅力をより高めるため、「景観形成重点地区」の指定を視野に入れながら、取り組みを進めます。



信玄堤公園

取り組み方針	景観形成方策
文化遺産の保存と周辺の魅力を高める	<ul style="list-style-type: none"> 信玄堤や竜王用水、ケヤキ林を含む周辺の重要な文化遺産については、今後とも厳正な保存を図り、三社神社一帯とともに、シンボリックな景観ゾーンとしてとらえ、魅力の向上を図る。 信玄堤からの優れた眺望景観を良好に保つため、眺望を妨げない工夫に努める。
竜王河原宿の魅力を高める	<ul style="list-style-type: none"> 信玄堤にゆかりの竜王河原宿は、信玄堤周辺と一体となったシンボリックな景観ゾーンとしての魅力を高めるため、歴史資源の掘り起こしや周知を図るとともに、土蔵などの歴史的建造物の保存に努める。 多様な景観資源を結びフットパスづくりを検討する。
景観を阻害している要因を改善する	<ul style="list-style-type: none"> 信玄堤周辺の景観や歴史を感じさせる雰囲気損ねないよう、景観に配慮した取り組みを推進する。

【景観形成の対象】

- 信玄堤、ケヤキ林、信玄堤公園
- 信玄堤からの優れた眺望（釜無川、富士山、南アルプスなど）
- 竜王用水およびその他の用水路
- 三社神社とおみゆきさん、竜王河原宿のまちなみ、歴史資源など

2) 水とつながる歴史文化的景観を顕在化し、景観まちづくりに生かします

水とつながる歴史文化資源の価値や魅力を改めて見直し、大切に守り、景観まちづくりに生かす取り組みを進め、観光の振興や地域の活性化を図ります。



竜王用水

取り組み方針	景観形成方策
歴史資源となっている水路（農業用水・堰・溜池など）を顕在化する	<ul style="list-style-type: none"> 歴史資源となっている水路（農業用水・堰・溜池など）については、資源の掘り起こしを行い、特に、景観上重要なものについては、周知や景観まちづくりへの活用を図る。
景観に配慮した維持管理や整備を図る	<ul style="list-style-type: none"> 補修や改修に際しては、その歴史性や趣を損なわないよう、歴史的景観の再生または景観に配慮した整備に努める。 用水路や堰、溜池の維持管理に努める。
水とつながる歴史文化資源の活用を図る	<ul style="list-style-type: none"> 水とつながる歴史文化資源の魅力についてPRに努めるとともに、観光の振興や地域の活性化に向けた活用を図る。

【景観形成の対象】

- 竜王用水および竜王地区に放射状に広がる水路網
- 茅ヶ岳南麓の堰（楯無堰、大笠堰など）や溜池（三島溜池、泉溜池、久保入溜池、竜地大溜池、伊豆の宮溜池、新田溜池、矢木羽湖など）
- 亀沢川周辺の棚田の用水路

(3) 歴史を伝える景観を守り、生かす

1) 歴史的なまちなみ景観を守り、生かします

市内には、歴史的なまちなみの残る古い集落がいくつか分布していますが、このままではこの歴史を伝える景観が喪失してしまうことが懸念されるため、本市の重要な歴史的まちなみ景観の維持保全と景観まちづくりへの活用を図ります。



志田の網蔵家

取り組み方針	景観形成方策
歴史的建造物を保存し、活用する	<ul style="list-style-type: none"> • なまこ壁の土蔵や古いまちなみなど、歴史的価値の高い建造物については、所有者の理解と協力を得ながら、登録文化財制度や景観重要建造物の指定などを検討し、保存や修復に努める。 • 建造物については、地域住民との協働により、新しい交流の場としての活用を検討する。
歴史的まちなみ景観を生かしたまちづくりを促進する	<ul style="list-style-type: none"> • 国や県の補助事業を有効に活用しながら、甲州道中やその他の古道の周知を図るとともに、周辺の景観資源を結ぶフットパスの整備など、歴史的まちなみ景観を生かしたまちづくりの促進を図る。
景観を阻害している要因を改善する	<ul style="list-style-type: none"> • 歴史を感じさせるまちなみの雰囲気損ねないよう、甲州道中沿いの景観を阻害している要因の改善に努める。 • 甲州道中やフットパスとなる生活道路や小道については、景観に配慮した修景を検討し、沿道景観の適切な誘導を図る。

【景観形成の対象】

- 下今井、志田地区の歴史的まちなみ
- その他の歴史的まちなみ（本竜王、富竹新田、境・牛匂など）

2) 遺跡・史跡・社寺の景観を守り、生かします

本市の成り立ちや歴史文化を知るうえで大切な歴史的景観資源を維持保全し、景観まちづくりへの活用を図ります。



三社神社石鳥居

取り組み方針	景観形成方策
遺跡・史跡の景観を生かす	<ul style="list-style-type: none"> 遺跡や史跡については、保存とともに、資源の周知を図る。 代表的な遺跡や史跡については、今後、遺跡公園や史跡公園などの公園化を検討する。 重要な遺跡や史跡の近傍においては、景観計画に基づき建築物や工作物に対する適切な誘導を図る。
社寺の景観を生かす	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的に価値が高く地域のシンボルとなっている社寺については、資源の掘り起こしと魅力のPRに努める。 建造物や境内の保存だけでなく、社寺景観を特徴づけている社寺林や参道、後背の樹林地や里山と併せ一体的な景観形成に努める。 重要な社寺の近傍においては、景観計画に基づき建築物や工作物に対する適切な誘導を図る。

【景観形成の対象】

- 主な遺跡（赤坂台古墳群、金の尾遺跡、御岳田遺跡など）
- 主な史跡（回看塚、黄梅院跡、滝坂の往生塚、両墓制跡、用水隧道開削碑、山県大武の墓など）
- 主な社寺建造物（光照寺薬師堂、慈照寺法堂及び山門、旧金桜神社石鳥居など）
- 主な社寺（天澤寺、常説寺、金桜神社、船形神社、松尾神社、金剛地金山神社、妙善寺など）

3) 古道を景観まちづくりに生かします

古道沿いに多く分布している古い民家の家並みや社寺、道祖神などの歴史的景観資源の存在を広く市民に知ってもらい、景観まちづくりへの活用を図ります。



旧信州往還の道すじ

取り組み方針	景観形成方策
道すじを顕在化する	<ul style="list-style-type: none"> 重要な古道については道すじの周知とともに、景観まちづくりへの活用を図る。
沿道のまちなみ景観を整える	<ul style="list-style-type: none"> 古道沿いの建築物等については、一定のルールづくりを進め、歴史に配慮した統一感のあるまちなみ景観の形成に努める。

【景観形成の対象】

- 旧信州往還（甲州道中）
- その他の古道（御嶽道、穂坂路、戸田街道、御幸道、市川道など）

4) 身近な歴史的景観資源を顕在化し、景観まちづくりに生かします

祠、道祖神、古木や堰、近代土木遺産となっている橋梁、古民家などの身近な歴史的景観資源を掘り起こし、景観まちづくりへの活用を図ります。



長潭橋

取り組み方針	景観形成方策
歴史的景観資源を顕在化する	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的景観資源の掘り起こしを行うとともに、景観資源の周知と景観まちづくりへの活用を図る。
歴史的景観資源を結ぶフットパスづくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民との協働により、身近な景観資源の維持保全に努めるとともに、魅力ある景観資源を結ぶフットパスづくりを検討する。

【景観形成の対象】

■ 身近な景観資源

- 土塀、屋敷林、大木・古木、水路、社寺、社寺林、道祖神、地藏、塚など

■ 歴史的建造物

- 歴史的な土木構造物（信玄堤、竜王用水、堰など）
- 近代土木遺産（長潭橋、旧信州往還架道橋、宇津谷架道橋など）
- 古民家や蔵

(4) 自然景観と山懐の里山景観を守り、生かす

1) 特徴的な自然景観や景勝地の景観を守ります

自然とのふれあいの場として多くの市民や観光客に親しまれている、本市の北部一帯および釜無川周辺の特徴的な自然景観を守り、景観まちづくりへの活用を図ります。



白砂山から見る羅漢寺山

取り組み方針	景観形成方策
<p>豊かな森林景観を守り、生かす</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「甲斐市森林整備計画」に基づき、森林の保全、森林の整備、松食い虫対策など適正な管理を図り、森林景観の維持保全に努める。 ・昇仙峡周辺は、特別名勝および秩父多摩甲斐国立公園区域に指定されており、天然林のアカマツ群落など貴重な植生が分布していることから、厳正な保全を図る。 ・大規模な擁壁や法面、えん堤や護岸などの土木構造物、ガードレールなどの道路施設については、景観に配慮した整備を図る。 ・ごみの不法投棄の防止など、景観を損なわないよう、ルールやマナーの啓発と監視の強化に努める。 ・市街地周辺の斜面林は、景観上重要であることから、「緑地保全地域」などの保全策を検討し、保全に努める。 ・森林療法、森林環境学習、森林レクリエーション活動、バイオマスエネルギーの活用など、森林の多面的な機能を有効に活用した取り組みを推進する。

【景観形成の対象】

- ・北部山岳地帯に広がる森林（茅ヶ岳、曲岳、太刀岡山など）
- ・昇仙峡・羅漢寺山周辺の森林（国立公園区域、貴重な植生）
- ・市街地後背の斜面林（市街地北部山麓の丘陵地の森林、段丘などの斜面樹林）

取り組み方針	景観形成方策
<p>良好な河川景観および水辺景観を守る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な河川景観および水辺景観については、維持保全に努めるとともに、景観に配慮した整備や景観まちづくりへの活用を図る。 ・信玄堤周辺は、本市のシンボリックな水辺景観を形成していることから、景観まちづくりを重点的に推進し、眺望景観の維持保全、水辺の魅力づくりの推進を図る。 ・河川や水路の護岸などの河川構造物については、生き物の生息環境や景観に配慮した整備に努める。

【景観形成の対象】

- ・釜無川（信玄堤周辺の水辺）
- ・昇仙峡の景勝地、荒川、亀沢川、貢川、六反川、坊沢川など
- ・矢木羽湖や丘陵地の溜池など

2) 特色ある山間の農山村景観を守り、生かします

住民の高齢化と過疎化の進行により、集落の維持が困難になりつつある北部山間地域について、個性ある農山村景観を維持保全していくため、地域住民の意識の醸成を図りながら、地域と一体となった取り組みを進めます。



亀沢川沿いの中村集落

取り組み方針	景観形成方策
空き家対策や都市と農村との交流を促進する	<ul style="list-style-type: none"> 過疎化が進む集落地については、棚田を中心とした景観まちづくりと一体となって、特色あるグリーンツーリズムの推進を図る。 「空き家バンク制度」を利用し、田舎暮らしの普及に努める。
集落景観の維持保全を図る	<ul style="list-style-type: none"> 集落地の地形に沿った道、石垣、家並みの形態、鎮守の森となっている小さな社寺、道祖神や道祖神祭りなど、その集落を特徴づけている景観資源の維持保全に努める。 山間の独自の趣がある農村景観を損なわないよう、民家や工作物等の新築や増改築にあたっては、その集落地の景観と調和したものととなるよう配慮する。

【景観形成の対象】

- 集落地内の景観資源
(民家や蔵、社寺、樹木、道祖神や祠、屋敷林、道祖神祭りなどの伝統行事など)
- 集落地のまちなみ(道路、建築物や工作物、石垣、垣柵の構造、緑化など)

3) 生き物の生息環境を守ります

近年、森林の荒廃や都市化の進展による自然の減少、外来種の増加などにより、生き物の生息環境への影響が懸念されており、良好な自然景観を維持保全していくために、生き物の生息環境を守る取り組みを進めます。



亀沢川の流れ（下芦沢）

取り組み方針	景観形成方策
水辺の生息環境を守る	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、六反川や信玄堤・釜無川支流において、市民の手により行われているホタルの生育などの環境保全に関わる市民活動の育成や新たな活動の創出に努める。 ・河川、水路、溜池の改修などに際しては、亀沢川で見られるホタルなど、生き物の生息環境に配慮した整備を図る。
森の生息環境を守る	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の整備にあたっては、「甲斐市森林整備計画」に基づき、林業の振興を図りつつ、生物の生息環境にも配慮した整備を進める。

【景観形成の対象】

- ・河川、水路、溜池、森林など

4) 自然や里山を楽しむルートや場をつくります

北部地域の自然や里山の魅力を広く知ってもらい、多くの市民や観光客が訪れ、楽しめるような取り組みを進めます。



甲斐市ふる里自然観察路（白山）から望む北部の山々

取り組み方針	景観形成方策
既存のコースの魅力を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の登山道やハイキングコースについては、適切な維持管理を進め、さらに魅力を高めるための整備に努める。
新たなルートを整備する	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と協働して、自然や里山を楽しむための新たなルートの整備を図る。

【景観形成の対象】

- ・甲斐市ふる里自然観察路、既存の登山道、ハイキングコース
- ・山村集落地・里山を周遊する新たなフットパスなど

(5) 棚田や農の景観を継承し、生かす

1) 棚田の景観を守り、生かします

地元農家の後継者不足や高齢化に伴い、遊休農地や荒れた棚田が増加しており、美しい棚田の景観が徐々に失われていくことが、懸念されています。

本市が誇る文化的景観である棚田を守り、後世に継承していくとともに、棚田を生かした北部山間地域の活性化を図るため、地元農家や市民・ボランティアとの協働による取り組みを進めます。



棚田の景観

取り組み方針	景観形成方策
棚田の景観を守る	<ul style="list-style-type: none"> 棚田を保存するための市としての対策を検討する。 棚田の景観を守るためには、生産の場としての棚田の維持が不可欠であり、生業（地域農業）の再生という視点から、棚田の保全に向けた取り組みを促進する。 現在、進められている棚田の保全活動の充実を図るとともに、市民活動の輪を広げて行くよう努める。
棚田の魅力高め、景観まちづくりに生かす	<ul style="list-style-type: none"> 棚田の存在や価値を広く知らせ、魅力をさらに高めていくため、積極的なPRに努める。 棚田の補修や修復にあたっては、棚田の景観を損ねないように、石垣、道路、水路、擁壁などは、景観に配慮した整備に努める。 農業廃棄物の残置など棚田の景観を阻害している要因を改善する。 棚田の魅力を高めるための取り組みを推進する。
棚田、里山、山間集落が一体となった景観まちづくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> 棚田の魅力をより高めていくために、優れた眺望景観、自然景観、農村集落景観や里山景観など、周辺の景観と一体となった景観まちづくりを進め、北部山間地域の活性化を促進する。 棚田を中心に、山間集落地の景観資源を結ぶフットパスづくりを検討する。 地域の資源を有効に活用し、北部山間地域と都市住民との交流を促進する。

■都市住民との交流の例

- 甲斐敷島梅の里クラインガルテンと連携した交流の促進、農の活性化
- 空き家の活用（交流施設、田舎暮らしの長期滞在、空き家民泊、特産品づくりなど）
- 伝統芸能の活用（下福沢道祖神祭り、七福神のねりこみ、大久保の太々神楽など）
- 良好な自然環境を生かした環境学習の場としての活用

【景観形成の対象】

- 棚田（棚田、石垣、水路、畦など）、遊休農地、農道
- 周辺農村集落地の歴史資源（天澤寺、地蔵・道祖神、道祖神祭りなどの伝統行事など）
- 農村集落地の空き家、里山など

2) 特色ある農の景観を守り、生かします

市内には、棚田のほかにも特色ある農の景観が広がっています。しかしながら、一部では遊休農地が増加するなど、特色ある農の景観が損なわれつつあるため、良好な農の景観を維持保全し、地域農業の活性化を図ります。



やはたいも畑

取り組み方針	景観形成方策
優良農地を保全する	<ul style="list-style-type: none"> 優良農地の保全や遊休農地の有効利用、農業の担い手の育成、観光農業の振興などの農業振興施策を講じ、地域農業の振興および活性化を図る。
遊休農地を生かす	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地については、現在、花畑づくりや休耕桑園を利用した桑の実摘みなど、様々な取り組みが行われており、景観形成の視点からも地元農家と協力しながら、多面的な活用を検討する。
農の景観を良好に保つ	<ul style="list-style-type: none"> 深刻化する鳥獣害対策やごみの不法投棄の防止を促進するとともに、農道や用排水路などの整備、農業施設（ビニールハウスなど）の設置や撤去に際しては、景観に配慮するよう努める。

【景観形成の対象】

- 農地（水田、棚田、果樹園、畑地ほか）、遊休農地
- 畦道や農道、用排水路、農業用施設（ビニールハウスなど）

3) 都市住民との交流を深め、元気な農の景観を取り戻します

農の景観の魅力を高めて、地域の農業を元気にするため、地元農家と協力し、農を通じた都市住民との交流を深める取り組みを進めます。



甲斐敷島梅の里クラインガルテン

取り組み方針	景観形成方策
観光農業を促進する	<ul style="list-style-type: none"> 農産物の地産地消を推進するとともに、観光農業を促進する。
農を通じた交流を促進する	<ul style="list-style-type: none"> 甲斐敷島梅の里クラインガルテンの活用をはじめとして、農を通じた都市住民との交流を促進する。

(6) おもてなしを感じさせる景観をつくる

1) 甲斐市の顔となるシンボル景観をつくります

竜王駅周辺をはじめ、行政文化施設などが集積し、地域の生活の中心となっているところ、市民に親しまれている主要な公園・道路については、甲斐市の顔・シンボルとしての魅力をより高めていくための取り組みを進めます。



竜王駅

取り組み方針	景観形成方策
<p>竜王駅周辺の魅力を高める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周辺を一体的にとらえ、本市の玄関口にふさわしい統一感と風格のある良好なまちなみ景観の形成を図る。 ・ 竜王駅南口線および甲斐中央線については、駅と市役所周辺を結ぶ本市のシンボル道路として位置づけ、景観に配慮した道路整備や統一感のあるまちなみ景観の誘導に努める。 ・ 駅周辺の建築物等の高さや意匠、色彩などの適切なルールづくりを検討する。 ・ 来訪者におもてなしを感じさせる、花と緑のまちづくりを進める。 ・ 周囲の住宅地については、地域住民との協働により、まちなみ景観の向上に努める。 ・ 駅の南北自由通路は、富士山や南アルプスなど周囲の景観を展望する眺望場所になっており、ここからの主要な眺望景観を確保するとともに、景観まちづくりへの活用を図る。
<p>多様な景観拠点の魅力を高める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域生活の中心となっている各種公共施設が集積しているところ、観光や交流の拠点となっているところは、単に施設だけでなく、周辺のまちなみを含めた景観拠点として位置づけ、魅力を高める取り組みを進める。 ・ 市役所庁舎や周辺に立地する文化施設などの公共建築物については、周辺の景観と調和するよう、景観に配慮したものとする。 ・ 公共施設の敷地内や周辺の道路、広場、案内板や道路標識などについては、地域にふさわしい緑化や景観に配慮した整備を進める。 ・ ごみの不法投棄の防止、老朽化した看板、電線や電柱などの景観を阻害する要因については、改善に努める。 ・ 周囲の住宅地については、地域住民との協働により、まちなみ景観の向上に努める。 ・ 周囲にある良好な眺望場所や魅力的な景観資源について、これらを結ぶフットパスづくりを進め、魅力を高める工夫に努める。

【景観形成の対象】

- ・都市拠点（竜王駅～市役所周辺）
- ・地域の生活拠点（市役所周辺、敷島支所・敷島総合文化会館周辺、双葉支所・塩崎駅周辺）
- ・観光交流拠点
（双葉スマート IC 周辺、赤坂台総合公園、玉幡公園、敷島総合公園、荒川河川公園、双葉農の駅周辺、双葉スポーツ公園、信玄堤公園周辺、釜無川スポーツ公園、甲斐敷島梅の里クラインガルテン、睦沢・吉沢周辺の棚田、サントリー登美の丘ワイナリー、昇仙峡周辺など）

2) 魅力ある「ふるさと景観回廊」をつくります

道路は、移動する車窓から刻々と変化する景観を眺めることにより、全体としてまちの印象が刻み込まれる大切な視点場です。様々な景観拠点や地域の魅力的な景観資源を結ぶ道路や回遊ルートを「ふるさと景観回廊」として位置づけ、多くの市民や来訪者が、本市の優れた景観を楽しめるような取り組みを進めます。



国道 20 号

取り組み方針	景観形成方策
眺望景観に配慮する	<ul style="list-style-type: none"> ・眺望景観の優れた道路区間は、眺望を妨げない工夫に努めるとともに、良好な眺望場所の確保や整備に努める。
景観回廊を意識させる工夫をする	<ul style="list-style-type: none"> ・道路については、統一感のあるサインや案内板の設置、地域の特性にあった花や街路樹による緑化など、「景観回廊」を意識させる工夫に努める。
沿道景観を向上する	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の沿道については、ごみや繁茂した草、荒れた農地、電線や電柱など景観を阻害している要因の改善や、屋外広告物などの適切な誘導を図り、沿道景観の向上を図る。
フットパスと連携させる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の多彩な景観をより多くの人々に身近に楽しんでもらうため、地域住民と協働して、地域ごとに魅力的な景観を結ぶフットパスづくりを検討する。

【景観形成の対象】

■ 骨格的な景観回廊

- ・賑わいの軸となっている道路
（国道 20 号、国道 52 号、甲府南アルプス線、竜王駅前線、愛宕町下条線など）
- ・観光の軸となっている道路など
（昇仙峡ライン、茅ヶ岳広域農道、敷島竜王線、臼井阿原竜王線、下今井駒沢線、甲州道中など）

■ 地域の景観回廊

- ・主要な生活道路
- ・フットパスなど

3) 景観の魅力を生かした観光交流を進めます

美しく個性的な景観は、それだけで多くの人を引き付け、地域の交流や活力を生み出す重要な観光資源となるものです。本市の景観の魅力を多くの人々に知ってもらうため、観光施策と連携した取り組みを進め、観光交流を促進します。



信玄堤公園

取り組み方針	景観形成方策
本市の景観の魅力をPRする	<ul style="list-style-type: none"> 本市の景観の魅力を市内外にPRするための取り組みを進める。
景観を生かした観光交流を促進する	<ul style="list-style-type: none"> 景観を生かした観光交流を促進するための取り組みを進める。 観光客に本市の景観の魅力を伝える仕組みづくりを検討する。

4) 花と緑の景観まちづくりを進めます

本市は、花と緑あふれる「ガーデンシティ・甲斐」の実現をめざしており、地域のイメージや魅力を高め、訪れる人におもてなしを感じさせる良好なまちなみ景観を形成するため、これまでの市民活動の輪を広げ、花と緑の景観まちづくりに向けた取り組みを進めます。



道沿いの花植えと生け垣

取り組み方針	景観形成方策
花の名所を拡充する	<ul style="list-style-type: none"> 桜や梅林など花の名所の充実を図るとともに、地域住民の協力を得ながら、新たな花の名所の創出を図る。
花植えや緑化を進める	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民や市民、ボランティア、事業者などと協働し、道路や河川、学校や公共施設、大規模な工場や商業施設の敷地内などの花植えや緑化を推進する。 住宅や集落地については、道路沿いの花植えや緑化、生け垣化を促進するとともに、オープンガーデンの普及に努める。 遊休農地については、農地の有効利用を促進するとともに、暫定的な活用として花畑づくりなどを検討する。

【景観形成の対象】

- 花の名所（桜の名所、梅園など）
- 主要なまちかど、道路、河川、公園や広場、学校などの主要な公共施設
- 住宅や集落地の道路沿いの庭、生け垣、大規模な事業所や商業施設
- 遊休農地

5) 祭りやイベントを活性化し、魅力ある賑わい景観をつくります

市内の伝統的行事・祭り・イベントは、まちの賑わい景観を創出するとともに、地域の歴史文化や暮らしぶりを伝える大切な景観資源であり、祭りやイベントを生かした賑わいある景観をつくるための取り組みを進めます。



おみゆきさん

取り組み方針	景観形成方策
既存の祭りや伝統芸能を継承する	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民と協働して、道祖神祭りなどの伝統的行事や祭りのPR、若年層への参加の呼びかけ、担い手の育成などを図り、保存や継承に努める。
新たな地域イベントを創出する	<ul style="list-style-type: none"> 既存のイベントの充実とともに、本市の優れた景観資源を効果的に生かした新たなイベントの創出を図るなど、魅力ある賑わい景観づくりを進める。

【景観形成の対象】

- ・祭り・伝統行事（下福沢の道祖神祭り、おみゆきさん、金剛地金山神社の祭りなど）
- ・イベント（甲斐梅の里クロスカントリー大会、甲斐市わくわくフェスタなど）

(7) 親しみのもてる暮らしの景観を育てる

1) 都市景観と田園景観の調和を図ります

一部の土地利用規制の緩い地域においては農地の虫食い状の宅地化が進み、地域景観のみならず、営農環境や居住環境の面でも問題が生じていることから、都市景観と田園景観の調和を図るための取り組みを進めます。また、ごみの不法投棄等により景観が損なわれているところもみられることから改善に努めます。



農地の中に点在する新興住宅

取り組み方針	景観形成方策
計画的な土地利用を推進する	<ul style="list-style-type: none"> 宅地化の進行する地域においては、都市計画との連携を図り、宅地化するところと保全すべき農地や樹林地を区分するなど、適切な土地利用の誘導を図る。
都市景観と田園景観の調和を図る	<ul style="list-style-type: none"> 新たに宅地化するところについては、周辺の田園景観と調和する良好なまちなみ景観の誘導に努める。
ごみの不法投棄を防止する	<ul style="list-style-type: none"> 市街地などで景観を損ねているごみの不法投棄、ごみ屋敷、廃屋、繁茂する空き地の雑草、樹木の枝などについては、適切な指導により景観の向上に努める。

【景観形成の対象】

- ・宅地化が進行している地域（双葉地区の用途地域外の赤坂台周辺や東部地域）
- ・農地と住宅地が混在する地域

2) 地域の個性を尊重しながらも調和のとれたまちなみ景観を育てます

市内には、住宅地をはじめ、集落地、賑わいある商業地、産業集積地など、様々なまちなみ景観が形成されていますが、それぞれの地域の個性を尊重しながらも、全体として調和したまちなみ景観を育むため、地域の特性に応じた取り組みを進めます。



住宅集落地と狭あい道路

取り組み方針	景観形成方策
密集市街地の景観を改善する	<ul style="list-style-type: none"> 密集市街地については、防災上の観点から、都市計画と連携した防災まちづくりを促進するとともに、景観的には、身近な防災活動広場となるポケットパークの設置、建替えの際の適切な建築物や工作物の誘導、道路沿いの緑化や生け垣化の促進を図る。

【景観形成の対象】

- ・古くから形成された木造密集市街地（竜王地区南部の既成市街地など）

取り組み方針	景観形成方策
地域の特性に応じたまちなみ景観を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に形成されている様々な住宅地については、地域の特性に応じたまちなみ景観の向上を図る。 ・古くから形成された住宅市街地については、道路沿いの緑化や生け垣化の促進、住宅の新築、増改築に際しての適切な建築物や工作物の誘導を図る。 ・良好なまちなみ景観が形成されている新興住宅地などについては、引き続き景観の維持保全に努める。 ・宅地化が進む田園住宅地については、計画的な土地利用の誘導を図るとともに、良好なまちなみ景観の誘導に努める。

【景観形成の対象】

- ・古くから形成された住宅市街地
- ・宅地化が進行している地域（双葉地区の用途地域外の赤坂台地周辺や東部地域）
- ・農住が混在する地域

取り組み方針	景観形成方策
集落地のまちなみ景観を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に分布している特色ある集落地については、集落地独自の趣を損なわないよう、それぞれの集落地景観を尊重し、全体としてまとまりと秩序ある集落景観を育む。 ・民家の家並み、蔵や石垣、鎮守の森、社寺や道祖神、祠などの石造物、古木や大木、屋敷林、水路など、集落景観を特徴づけている地域資源の保存に努める。 ・民家の新築、増改築に際しては、本計画に基づき、集落地景観との調和に配慮した建築物や工作物の誘導を図る。 ・道路や河川の改修、斜面对策などの公共施設整備においては、周辺景観との調和を十分考慮した整備を図る。

【景観形成の対象】

- ・歴史的なまちなみを残す集落地（志田、下今井、竜王河原宿など）
- ・山麓の農山村集落地（菖蒲沢、大久保、天狗沢、牛匂、亀沢、吉沢など）
- ・谷合いの山村集落地（下芦沢、神戸、上福沢、下福沢など）
- ・山間地に点在する山村集落（上芦沢、安寺、上菅口、下菅口、漆戸、打返など）

取り組み方針	景観形成方策
産業集積地のまちなみ景観を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に整備された下今井農工団地や竜王赤坂ソフトパークなどの産業集積地については、施設の規模が大きく、景観に与える影響が大きいことから、敷地まわりの緑化を促進する。 ・工場などの新設や増設については、建築物や工作物の位置、高さ、形態、色彩などの基準を検討し、周辺景観との調和や眺望の確保に向けた誘導を図る。

【景観形成の対象】

- ・産業集積地（下今井農工団地や竜王赤坂ソフトパークなど）
- ・大規模な工場

取り組み方針	景観形成方策
<p>商業地のまちなみ景観を育む</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 主要な幹線道路沿道では、賑わいのある景観の中にも、秩序や品格のあるまちなみ景観となるよう誘導を図る。 • 大規模商業施設などの新たな立地については、都市計画との連携による適切な規制や誘導を図る。 • まちなみ景観に大きな影響を与える屋外広告物については、「山梨県屋外広告物条例」の活用や市独自の条例を検討し、適切な誘導を図る。 • 建築物等の新築・増改築やネオンなどの夜間照明の設置に際しては、本計画に基づき適切な誘導を図る。 • 南アルプスの眺望に優れたアルプス通りは、景観上重要な道路であることから、眺望の確保をはじめ、重点的にまちなみ景観の取り組みを進める。

【景観形成の対象】

- 国道 20 号沿道
- アルプス通り、甲斐中央線、甲府韮崎線、和戸町竜王線の沿道など

3) 身近な景観資源を守り、生かします

各地域に数多くみられる小川や雑木林、古木や大木、花畑、水田や果樹園などの身近な自然に関する景観資源、特徴的な眺望場所、地域の歴史を伝えてくれる社寺や道祖神、祠や石仏などの身近な歴史的景観資源を見つめ直し、地域でその価値を共有し、地域の景観の魅力をより高めていくための取り組みを進めます。



山県神社の社叢林

取り組み方針	景観形成方策
<p>景観資源を掘り起こし、顕在化する</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 住民参加により、埋もれている身近な景観資源を掘り起こし、景観資源の周知と景観まちづくりへの活用を図る。
<p>景観スポットとしての魅力を高める</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 一つひとつの景観資源の魅力を損なわないよう、地域で維持管理に努めるとともに、必要に応じて、景観スポットとしての魅力の向上に努める。 • 古くから形成された集落地などに多く分布している道祖神は、道祖神祭りとともに特徴的な景観となっているため、地域の重要な景観スポットとしてクローズアップするなど、有効な活用を図る。
<p>地域ごとのフットパスづくりを進める</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 住民との協働により、地域ごとの身近な景観資源を生活道路や小道などで結ぶフットパスづくりを検討し、地域の魅力向上を図る。

【景観形成の対象】

- 身近な自然景観
(ホタルの生息地、社寺林、古木や大木、雑木林、屋敷林、学校林、農地や小川など)
- 良好な眺望場所 (河川沿いや橋、公園や広場、道路、観光レクリエーション施設や公共施設など)
- 身近な歴史的景観資源
(古道、社寺、古民家、蔵、土塀などの建造物、祠、道祖神、地藏、石仏など)

4) 公共施設の景観の向上を図ります

公共施設は、多くの市民に利用され、市民の交流の場、まちの目印ともなっており、地域の景観形成の先導役としての役割をもっています。

公共施設の景観の向上を図るため、道路、公園、河川、公共建築物などの公共施設デザインのガイドラインの作成を検討します。



双葉水辺公園と高架橋

取り組み方針	景観形成方策
公共建築物の景観を向上する	<ul style="list-style-type: none"> 施設の新築や増改築を行う際は、場所の特性を踏まえた高いデザイン性、眺望への配慮、地域特性にふさわしい緑化などに配慮した整備を図る。

【景観形成の対象】

- 市役所などの行政施設、文化交流施設、小・中学校などの教育施設、公民館などのコミュニティ施設、福祉施設などの公共建築物や外構
- 竜王駅・塩崎駅などの駅舎、病院、温泉入浴施設、農産物直売所、ワイナリー、市民農園などの公益的な建築物や外構

取り組み方針	景観形成方策
道路の景観を向上する	<ul style="list-style-type: none"> 「ふるさと景観回廊」に位置づけた幹線道路や地域の主要な生活道路については、適切な交通安全対策を図りつつ、景観に配慮した道路整備を図る。 沿道の廃屋対策やゴミステーションなどの改善を図るとともに、住民参加による街路樹の維持管理、花植え、水やり、清掃美化活動を促進し、道路景観の向上に努める。

【景観形成の対象】

- 主要な幹線道路（国道20号、国道52号、アルプス通り、竜王駅前線など）
- 地域幹線道路
（昇仙峡ライン、茅ヶ岳東部広域農道、甲斐中央線、敷島竜王線、臼井阿原竜王線、竜王駅南口線、下今井駒沢線など）
- 地域の主要な生活道路や農道、釜無川サイクリングロードなど

取り組み方針	景観形成方策
公園・広場などの景観を向上する	<ul style="list-style-type: none"> 既設公園のリニューアルおよび新たな公園や広場の整備に際しては、眺望景観への配慮、統一感のある施設デザインなど、景観に配慮した整備を図り、また、施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインの導入に努める。 住民参加による花植え、清掃や美化活動を促進し、景観の向上を図る。

【景観形成の対象】

- 主要な公園
(赤坂台総合公園、敷島総合公園、玉幡公園、釜無川スポーツ公園、信玄堤公園、島上条公園、双葉水辺公園など)
- 地域の身近な公園、児童遊園、広場など

取り組み方針	景観形成方策
<p>土木構造物の景観を向上する</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 主要な道路、橋梁、擁壁や斜面構造物、護岸などの河川構造物、えん堤などの治山のための構造物といった土木構造物は、景観に及ぼす影響が大きいことから、景観に配慮した整備を図る。 • 信玄堤や竜王用水、長潭橋やレンガ積みの架道橋といった景観的にも価値の高い構造物については、保存を図るとともに、その魅力を引き出すための景観的な工夫に努める。 • 鉄塔や送電線、貯水タンクなどの大規模な構造物については、敷地周りの植樹や緑化、周囲の景観と調和した色彩・デザインなどの基準を検討し、景観に配慮したものとする。

【景観形成の対象】

- 主な土木構造物
(高速道路の高架、幹線道路の立体交差、橋梁、護岸などの河川構造物、擁壁や斜面構造物、えん堤等の治山構造物など)
- その他の構造物（鉄塔や送電線、貯水タンクなど）
- 主な土木遺産
(信玄堤、竜王用水、堰、長潭橋、旧信州往還架道橋、宇津谷架道橋など)

5) 景観まちづくりを通じて地域のコミュニティを育みます

市内で行われているボランティアや地域住民による様々な景観形成に関わる活動を通じ、地域のコミュニティを育みます。



市民による花植え活動

取り組み方針	景観形成方策
<p>景観に対する意識を高める</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本市の景観の魅力を多くの市民に知ってもらい、景観に対する理解と関心を高めていくための取り組みを進める。
<p>市民の自発的な景観形成活動を促進し、支援するしくみを創る</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 市内で行われている市民の自発的な景観形成活動の輪を広げ、活動の周知を行い、景観まちづくりについて自由に話し合える機会や場を提供するなど、市民の景観形成活動を支援するしくみづくりを促進する。
<p>先導的な景観まちづくりを推進する</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 特に景観まちづくりに対する意欲が高い市民の景観形成活動については、市民やNPO法人、ボランティアなどの協働により、先導的な景観まちづくりを推進し、この取り組みを通じて新しい地域コミュニティを育む。